

Diary
1928 (I)

昭和三年

Ekaha Nr. 12. I. M. O. v. Sch.

WAB

MAIERSCHE
PAPIERHANDLUNG
MUENCHEN
Karlstrasse 8

一

月

1. (1) 晴

朝駅後 東一回、新幹線 往き、モニ上
車 やり 一部 正ト玄ニ迎フ ほちモ かぶりやエ
十師妹ニ並び、

朝七時 過起休 一部ト正ハ辛枝ニシテ
武二行、後テ朝氣ハ(3)通り 紅茶入ノレ
ラシテス

午前八時頃叶ト退ル

金一回 七敷、生ツツ報道ヲ致フ

午後一時 十世二人相伴ニ ハリモテテ歩心
隨意ニテ神アニカニ更ニ 宮田ヨリナムク正
シキニ、車輪ニテ牛肉ヲ購ヒ 駅道電車ヘ四時半
帰宅

夕 牛肉ヲ英 一回瓦鉢入浴、以
トランフ、庭ベトニ十時半叶休

(2) 章書七十回 1.05
牛肉 2.00

一月

2.(月) 晴

朝食後、中は悪く、便にオレイン酸休止
薬の腹痛、嘔吐下痢、吐き気止り
止ム タメに朝八時前より嘔吐止ム

午後タリーフにて来テ、午後一時半、矢車大院
にて松竹へ行方不明者を尋ね

喫茶、江戸賀町にて先日朝、喫茶店で
飲酒、寄り居る人との干杯にて、九時半
休止

不在中山幼稚園見行

高田子ニテ大人ニテ改送、宿泊先更に入院
セヨリ、重慶上陸ハル、通院、外へコマニヤス

(2.) Auto = 127 2.00
運動 .80

一月

3.(火) 晴

午後空腹、東京海岸へ十三時散歩
外院の左近にて川流十差五、岸十九
度北、元は河十九度北へ退ム

夕景薄田市丸木街の丰崎町にて辞去
ル

浅利坂而御先代、医事の速ム 大院委員会ノ勝
二十七日午後、文ナリキト 兵庫大院委員會停良
時事報、佐野又吉、可太郎等主婦等、代
表者、先づ木山久松相談、上院ノキト 研究所
内ル、從事會議、結果四門壁面傳達協力、神助、吉
隆、文ナリハル、大院協力、理事長、辞ニシテ23
中退ル

(2.) 手足及筆書 1.20

1

11

4. (水) 晴

入江蘇之境，東北行，遇秦淮水，北流，即行其北。

午前 10.35 佐々木一郎 正八人件
立

中之為之亡也。而亡者，亡之又東立一
行，乃起相連十八年，依舊神戶生兒，得策。
人子也。

午以一時之氣 其動極 一時半退半進
為始 並以來之動事 乎以

一時五十分，順流東九里，行半時，見岸北
車牛川寔。四時半，順洲率海行一尋。

身のままで大内丸山へ工船を渡る
全員喜んで、態々待遇をよく

入院，以“尾椎骨折”送入大骨科手术室

6

下

5. (木) 晴

朝七時半，便起牀朝食，以大時過工應缺。
午後一時半，到上海，故步。荔江一時半，返一氣船。
是時計一時八

同上二行钢笔稿山東史二合卷立毛入

午前十一時半より一時四十分迄を割合額の
二時過後、織物の引受け上達

中国南海鉄道駅-1丁目 1.52 駅 2時半、喫
煙(1支=1石)

午ニテ 戒橋、かす秀、至リタ乞シ 極図歌、

5.25 是三時，價格是200元

入浴以待ナラ清いロビヤ便ナトシ大時計
竹林2

不在此中。田中爲之印史半行也。

(支) 工管段 $\varnothing 3.50$ m 14.70
.. 單代 3.00
.. 双代 2.00

自動車運送汽船
世界有史以來 27.30

一月

6. (全) 晴

— 千葉十時、喫田口八郎史来訪。支那年=十九
大阪自由通商協会=は行ア 岩佐人 ルコ東
洋子

の史詩を以て、車の体神戸は日本文化
進行足本、而寄也依頼し大丸=進行全
喫茶車=全員別=全員社=太陽=進行=新田用
シテ=子單帰元

夕入江故に元未行 神戸に近づくと
高達山更良傳等は妙力、七八歳分、力、
12月、心也

計重書>退+ + + + +等叶沫

(2) 章書石文	1.50
吸筆食代	2.70
Anto	2.00

一月

7. (土) 喜以爲

午前涼，整理一送事
今朝四八郎吏（使門）午後正午送叫大段通
高協会，是主人，重十八人，今是3月，這是狀元帶
斗，局中鼓子，化堂食以 12.35 - 3 上段 大鼓
七八八音，主二丁，四江高郵對四平生辰本班
四下四土堂，社稷在三，氣則太極，儀更
之時吉凶氣 3.25，亥申-3 晴天

一月

8.(日) 晴

先口在室午喫茶、便り又十世、復門シーキー
又室内、整理=從事ス

午以山名長鶴相撲^ノ虎ニ表來訪遇ひ、即ち
支口荷向題^ノ十二束、意足ト達ル。余ニ三年半、健康
失態ト云々。半時向キドモ辞去アル。

午時半、先口手紙、便リトシテ、時半出来
午口午後妻神戸へ行リ、羽毛五封入置於ナキル
午朝気付ケテ、ラニ外心満不滿要^ク有^ルト考リ
主^ム高金(中)、白油(次)、午、取^ル

下、手紙、便^ル古莊太^ム、母室、母子^ノ、主^ム
主土屋^ム、余、予改御用^ノ統計手帳^ノ手中心
送^ル

前天文男史^ム、至先流亡上京史川村近高^ム、先口
装造^ムハ^タテ、贈高一重鉢地^ム、是^ハハ^タト中
之送^ル

成利史川入状、理事長^ム任^ム思^ム止^ムシテ^ム手中心
越^ルハ^タテ、向^ム大内身主事^ム任^ム、是^ハアル^ム手中心來^ル

(支) 羽毛五封袋 ^ノ	9.00	20.00
羊糞石粉		1.50
十合袋		1.08

一月

9.(月) 曇

先口在室整理=從事大作^ム

午口一帯^ノ森久留向ニテ、妻正ラ^ム
山下史一、羽毛布團、羽毛、布^ム先一封送^ル、物^ム
又大内完魚ニテ、ハ^タ包^ム、是^ハ送^ル

(支) 羊糞十合袋	.36
母 ^ム ニハ ^タ テ ^ム 統計手帳 ^ノ	30.00
中 ^ム リ ^ム 糞石粉	.48
Butter, Margarine	2.80
カーラー ^ム ナシ地	.72

10. (木) 晴

1

月

一

11. (水) 晴

= 朝九時遅考定 寛車利用、吸邊原銀山林
、聖心サ幸院、至八時待ニ至る心半端人
、而接又桂人等、Special class 今ナリトナ;
尚规划書稿費支、ソロ太段、セラ
置物ナシナ以得矣

夕飯用ニシテ一時外休

暁山岐等史、十五日、協議員会、大臣氏
病氣、ナ近頃、高麗報に來ル

成利史、万事不口上章、上西清ヒナ高
達久

(文) Auto, 車

2.70

月

一

12. (木) 晴

= 午前 8.24、午中ニ神戸一宮ニ中山手通四丁目、
ルルニアサナ美幸院、行キ事務室→入室手帳ナシ
而後也

9.30、午中ニ上段十一等改就計一七勤

計一等ナウル大臣工ニシテ高、正木ナ先丸
御川素ニシテ、現今名利持主立方ナル、内紙一、達也、
木ナル事ニ二月キリタシス

一時遅ニ事務会司、駕津越前森川花屋
四史ナ第内蔵波蔵ニ志久勤、外欠帶、
研鑽是令、決復中意ハコト報甚ニ時故会

次ニ事務員一、ナ集火接種ニ章ナ訓共ニ
仰川東、本週内翌上章、旨ニ森口史一セケンナ
題ナガリス

4.52 土改策、ノ内見

ノ虎以テ墨ニ行キ置物ナシ

Socialism & Bevölkerungspolitik、壳ニ
時外休

(文) 本町、コーヒー

.80

炭波文津酒

1.00

一月

13(金) 晴

佐々木 哲
Syzalimus u. Bevölkerungspolitik
Frauenarbeit u. D.P. 7時半迄、十二時半休
午後二時入、指物師東洋紡地主会文

(入) 里院

409.50

一月

14(土) 晴

朝 假 働、革高300円 11.00、矢車=上段
足下大段假主部=東京大段自由通商協會
、賀年式=馬上太人正午過司令機事局、年
常務理事=地元芳慶心機事局、次日太人
一時半歸去 Auto "配" 東京太人町叶
知事支那副使=東京大段社事堂町盈
研成会、支那二時四時27、独立記念日
人口問題、近況、地主請願又
路の自動車二速3人車叶、中央車、至
太人、晚飯食=松山食事、替)心3号支
得是二十時過

(支) 關稅局金銀庫
二十四金銀庫代

4.18

Auto

2.00

15. (口) 異人・情

午前十時、喫井上良二君來訪譯文解說、
寫成...方物手稿約一月向休校止加之一、
未(火)、意向、復(火)、羊(火)、半時間計、會議
辭去一々

十一支、復陽、十二

宜食以事一枝、神戶一行、井山一燭八一
而、要木子四時、此得完

井山一、燭品、柳行季=送+「方木下連延
庄一持先、東申便、院送佐半、
朝暮巡守、一時半外休

井人史一、明口上空、旨、申、送一

北伏史一、上空、報心面、氣心、旨通知之

高田半人一、足道、吉來新村旨通知之

吉久賀堂一、從半使用刀、西洋利刀、燭八

又 Razisten 92

(支) 故費
洋明及外事主代 9.20
井山一、更竹代 2.10
" 73年1月 5.28

(支) 正二年烟燭費
中" 18.00
" 25.00

三

27.(全)而

朝 11.44，公車二等，寃一去六，及第。買物
十二等半，神童。辛未年，高舉科一等，
任，毋寧先生。向今，木外之中，一等半，
賢而後妙，故有方針之改，以遺意。美服，以
計算，家庭，桂遠，清，詳載，卷之三，
指，追，楚威，一九一九年，軍委，財政部，
附近，八月三十日，辛未年，豫，中，全
地，行，軍又主任，即印，兩，中，以，通，九，
二十一，冤，車，二，午，及，二，等，遇，四，尾，
太，沒，指，物，師，或，人，某，一，嘴，上，沿，下，
昌，州，也，他，事，入，二，等，遇，尾，
，平，此，十，次，大，十，等，半，非，休

(2). "Parigal" - 人	2.50
不读书人	.70
熟人 - 心付	1.50

三

28. (\pm) $\frac{2}{3}$

朝 8.48. 水車、上段 車中→飯島情司
改定書史、附壁弓箭力協会事務。かんへーりキイ
弓箭手本、火、火事十三へ一等可成、額ヲ書く
ヘキト向枝以後是二月+四ヶ主送入一トナリ
支那午前四午後二至三等又、射法書、射法書、整
定、四時過延許得矣

(2) 一月份水暖山等共 85.00

一

月

29.(日) 晴

午前、示内、整理仕事又一部正、復唱手と手引の
神戸市役所退室、バス→美津尾→美濃→伊勢佐木→
車の桂、近隣地主と会談又手合儀式

宝尾以一時向宝十支ト吉野

入江尚又史東洋先生、中込、若山而内竹子
通入手付、支度

夕食、前以書物、竹書物、入江、竹、汽車
手取付退+十一時半休

(支) 入江尚又史へ袋文 100.00
一部正 故障 .50
竹書物 .50

一

月

30.(月) 晴

朝十時過河上大寺郎史来訪、久留美屋、後藤
候補者と神戸市役立つた。決意以外、局長は
声優を乞ひ、桂選手門山以一ツ、演説會、音楽會、
講義又

前 11.4.8、午前、上段矢車町、今井嘉吉、
吉田、向井又西尾亮太郎、声優又中立、テル高
達人等

午十二時半過大阪、三井、行、宝尾以大阪向山
通商協会役員会、支那種八、理事、既一郎、又
吉田、伊藤先生、千賀、通す中、持元セイ、
中、神戸市役所退室、桂、封に付、奈良門山、
通至止

第一四五、支那、千賀同、借用、中込、

(支) 4月11日 100.00
支那会 300.00

一

月

31. (大) 晴 晴

= 銅矢車 トト時事 之西

鷹津史 ハ山田虎土四郎の呪血十使、空ニツル
木、返、向、不神御元、気木十吉土ヲ祀神代李
之又ノ万事ア、皆善、送コトハス

「協同研究運動」実行計畫ハナハ向日草太
主計、楚成堂、名古屋市立大学講

二月

1. (水) 晴

今日晴天、早朝 3 時

午前 7 時過 岩波書店 三岩波謹慎史來訪
河上太郎史、手紙、持先 4 月 1 日 14 時
電希望 4 月 1 日、止、まくす全集二付書来人
夕食後 7 時意志達 4 月 1 日、既過
止 4 月 1 日 14 時中 4 月 1 日 成事、上白葉場
カタシコトアルへ 4 月 1 日 慮者 4 月 1 日 晴
去 4 月 1 日

夕方 4 月 1 日 太郎史、手紙持先 (晴)
午後 4 月 1 日 晴

夕飯後 4 月 1 日 神戸駅 4 月 1 日 河上
史又代 4 月 1 日 定 4 月 1 日 歩 4 月 1 日 晴
大倉山下
市立高等女学校 4 月 1 日 八時半 4 月 1 日
七時半 満足 4 月 1 日 4 月 1 日 4 月 1 日
施家大講堂、走 4 月 1 日

4 月 1 日 晴 4 月 1 日 4 月 1 日
4 月 1 日 晴 4 月 1 日 4 月 1 日
4 月 1 日 晴 4 月 1 日 4 月 1 日
4 月 1 日 晴 4 月 1 日 4 月 1 日

河上太郎史、改火祭、演説、丰川 4 月 1 日
4 月 1 日 晴 4 月 1 日 4 月 1 日

4 月 1 日 パルマサナ美幸、通車隊
・吉井 4 月 1 日 担任、役員、足利 4 月 1 日 4 月 1 日
講 4 月 1 日 4 月 1 日 4 月 1 日 4 月 1 日

豪治室一史の入社、社会思想社、連中確

二月

1.

代、4 月 1 日 朝 4 月 1 日、研友社、万葉草屋造、仕事
間 4 月 1 日 金 4 月 1 日 + 千葉解 4 月 1 日 神經過
營、土建 4 月 1 日

横田民藏史 4 月 1 日 4 月 1 日 4 月 1 日
北島敏 4 月 1 日

大内史 4 月 1 日 4 月 1 日 4 月 1 日
4 月 1 日 4 月 1 日

(入)	(支)	4 月 1 日 4 月 1 日	4 月 1 日 4 月 1 日
郵便貯金	109.50	4 月 1 日 4 月 1 日	5.00
入江一室	100.00	4 月 1 日 4 月 1 日	.30
一日在中			

二月

4. (\pm) $^{+0.00}$

車 915 , 起重 11 吨左右

舊津秦川大原北流舞一丁十足舞治川之計

九月廿一早起于皇城下，因欲游北山。

三

王重陽遺傳-牛田源流考(乞計四牛田先生)

傳之無事 等書懶甚 一月不來音信矣 大至

這就是一個高級的下水道，八公呂，和
一個大的——大專（大專）——和一個小的——

内，其如，多才，李生靠，以送，其事，而立，

人說得半真半假，後來又說

午前又以重读類整理之

二年處士太守論寄其兄，遺漫依軟川

4月15日 + 五点十分左右，重量达1/2，近处，浅水区

沒有充分的、強烈的興趣及半興趣形態。

河上先生詩集，日本以復漢譯，丁巳年

四時足計五時半歸之 雖計前大母記有

李田致羅光華

行感→後文

「轨迹書四，整理稿」，整理十一時半

外文

嘉治隆一丸之次 マルクス全集、卷之四下等

室中、山、人、馬、火、猶豫、サクナム、ヨ、トモの言

便，令鑑，仕事以中心事。——「人」事文全以「人」為

中心邊

(支) 現金手頭款 1000.00

二月

5. (日) 晴

朝 部屋手洗付、全、整理心 又十世、復
唱、又、而、人事叫唱、人、独逸復、復唱又
宣食及、睡、一時半、叫事、及十世以、
生、手作、山手、故手、一時半、
手洗+手洗+入浴、口洗+手洗+十
等叶付

(支) 3大袋 九重帶 .35
草 + .50

二月

6. (日) 雨

午前、午後、自由貿易協定、
午後、清、火車、上段、太陽保、空、以、
一時、到、太陽由通商品會役員會、市議事、上
火車、時、故、空、火車、以、
英、市、史、火車、以、
前、元、文、男、史、一、清、火車、正、狀、及、行、通、火車、

(支) 中	枝立会費	1.00
正	枝立会費 手工料	3.00
大	山脚支派役員會、寄付	10.00
日	方、空、一、寄付	10.00
些	產、手、一、年、分	3.00
國	民、商、會、社、社、社	4.18
郵	稅	.54
支	1大袋 Butter (12) Wurst (12)	6.50
	2 little paper	.50
	Vanhang - 82g	2.90
中	正、河、吸、載、送、代、事、稅、半	4.40

二

月

7. (大) 晴

午前 + 晴 事務處

生氣及森久史一此會漫談美、宣心室，及後
處理內蔭史，至後山林史，至後處理所→近心
同意，得又 Marx. Angels 生，對兩難化
→五月三日 - 努力 2-9-2+ト近又

午前 + 事務室，上

書冊數，整理又

四時半退斗 中史古今堂一行十七人
之代表者，是役氣，是役氣，入場叶人
之時空蔭所→，主賣高田家去史，印人
事小賣冲毒川內蔭萩原鷹の火留而太林
，始次未今欲讀大時・至，故氣，矢車以
得之 + 時半外休

(主) 事務室動向數

.95

二

月

8. (水) 晴

午 + 自由通商協會の見行，是 + 11-10-7-11-11-
，平野 + ト，復德又

夕墨寧野津一丸來訪，章節 = 大平氏和
氣足舞，得近 + 月令，近心九時前，詩言早
食，近 = 級一丸

二月

9. (木) 晴

午前十時半去西

舊本史川山里史病其妻經過已半而止，
又大原氏兄弟未二回合此野草類，空木木
小枝 = い。午後越前丸，頗人左都一持先

15.21.2

書物、整理

午後二時前退而 大連川八路，便車至
室、行，自由通馬橋今役是今、其岸是下鉄
及木材紅松，栗本旁之助史氣量田金之助史
中川晴平史世地一二名半；一意足支按一次。
往是今二程，復事此地一四等半故今氣中
之時得矣。

）改造二月半計載，福田史高五三九；
又口記、退十一時半休

知覺近の高島御用史、近づけ改、次第に進

(木) 高田家去東京定居
今迄及半時心 9.00

二月

10. (金) 曇

先日左尾 球磨端薦相成，河田朝市央“社会党”，
黨員獲得運動，元 Kiel Party of SPD 之流亡
午後二時，便車之往 甲南高等学校之至，
教主甚、而今川董吉、孔道也、及大崎人名守
室、率校、是需是々

夕方三時過正之休 中野市施設高士亭前，
是、高薩有地之學，訪、計意，達、正社会統計
研究會 田川學術全集 Hoffmann、不假
的觀面、是需是々

口記、退十一時半休

(木) 正延生炊事費	3.50
中野屋 15.00	4.90
薩摩或志氏吸煙茶	5.00
高薩刈草頭子、 種西綠代	1.00
Butter & Wurst	2.20
竹筆毛	.50

二月

11. (土) 雪

= 昨夜未降雪 中午積几 地方 - 2+ = 5 里
大雪ト云

此处在気 SPJ 大氣記事、従

夕暮、鶴子集 正午、誕生日祝

河野義史川入林、十五天の、復加藤勘十郎
日本農業演説会、坂井、美鈴川故封川
旨也也、且實相、の本車、通事、さく

(3) 鶴一時代

2.20

二月

12. (日) 晴

= 河野義史 Kuro Partily、Proletkult トハ、演
説、草稿手稿

午後森木夫人来訪、河野太山、吉田氏以復、以
河上草史ト共、馬川、ホトヘル、吉野川、米川

夕暮以氣車ト電車、利用、河野劇場、行
七時、坂井、杉山元治郎君以復、ウツカリ入等、坂
井計画ナリ演説又、電報、比較的ケナ全
矢張リズム、コラムの本車、子セキナリ、演説以
向エナミ、十一時帰宅、川井

二月

13. (日) 晴

8時左辺 S.P.D. Brücke K.P.D. Bericht
 & Roh Fahne + 12時半終了

二月

14. (火) 雨

前半晴後半雨
 以降東へ以遠は晴れ神戸及明石内子等
 及他、一ノ木ヶ丘～北野観音、横浜
 喬木ヶ丘森立細川二處地方航行、叶林会
 事大社会科系研究会、文科学生薦本賣り行
 事中止駕籠船入川故明日、晴れ。四月正
 月廿一日午前八時起航又
 駕籠史川崎寅次美又一乃方美之来上
 小島朝長、久松太郎、大原政一連人等又
 午後二時退行 大阪ビル内舟橋高橋
 会、遊賀会、支那種族、ハーフトロットー付
 相模・横川二時、天敵汽船、横濱、鳴尾
 拆解促進委員会朝川口の開港、馬込
 等川電車、改修、支那更、千代、今治町
 に赴く、行つ

(2) 食堂食費	7.00
電報	.30
Butter & Want	2.20
Milk	1.00

二

月

15. (水) 晴

午前+晴
電車：→ 神戸：行 + 須便向以
Vorwahl 地址，郵局及書店，為轉送地圖
電車 + 時間
午後書類整理 - 記事
午後洗浴 + 又 Heidelberg Programm SP1
午後+晴半休

(土)	Shuisan ~	205.12
	Vorwahl ~ 半休 m. 33	16.92
	Rohfahne ~ 半休 m. 27	13.84
	Sotheran 書店 £1.18-7.	20.13
	七時半	1.80
	"Dwight"	2.50
	菓子	.90
	午後書類	.60

二

月

16. (木) 晴

午前+晴半休
昨日大原山一見舞，野草 + 鳥の巣状況
車内、船内欠手迄復元：付手洗 + + + 注意
午後
一寸山園丸，病院行 + 以北，又 + + + = 諸
今市内病院：大院半休乃至一日治療也 + + +
地摩臺 + + + 程度加へ + + + 期待止而 + + +
心配又 + + + 地摩臺，有生前，更細 + + + 旨
午後 + + + 大 + + + 是日是 + 車口車汽，船本
運河 + 物種 + 市内病院，心音，午後 + + + 112
又門通所：所員健康汽好，21休半日

四八八町丸の電話：→ 自由通商局 + + +
又，以支金，銀表 + + + 保険室 + + + 実又人声明，
又取 + + + 並叶楚成，本丸 + + +

東京社会研究新院，花園丸未訪 + +
又金生，21 七度 + + + 1.45

午後而晴半退計三等湯氣

Heidelberg Programm 1.45 + + +

(土)	Vanishing cream	1.00
	セーフティ石鹼	1.45

二月

17(金) 晴

午後 在会 (Handlungsprogramm, 德)
午後 河上 大太郎史夫人来訪 明日市商談 (依頼)

午後 2

吉田母上、誕生日 + 実鳥 + 葵 + 紅茶
午後 人母子 J.L. Lampl ~ 2

二月

18(土) 晴

午後 講演 (半) 3+2

午後 河上 太郎史夫人 来訪 明日市商談 (依頼)
午後 2

午後 兵庫、西鶴十草枝、午後 四十万演説
慈眼道人相見、盛以待之 大会 喜劇
静謐 ハルヒマツナ

次、精華 千手枝 - 行幸 大藏家 治堂 静
謐 2+5+2, 漢詩

午後 電車 -> 沿神鉄道、大正東 - 電車 ->
帰宅 2+1時向 + 1時向

(支) 鶏 - 22

革

2.00

.24

(支) Wein - 48

Butter, Wurst-

zweite Papier

1.08

2.10

.18

二 月

19. (v) $\frac{dy}{dx}$

朝9:14、文庫→立教、行少君也。十一時九
前七十四、自動車→大連橋迄前、施設丸京、
至川大原夫人、本利子通日本、病院病室、
行少大原氏、而氣又大過良、退院へと半得
以高、暫引入院、旨達ル
山内監査官、大原夫人、待テ夫人半利子及
セ二十日計、足舞→達へ退院
→立教節事中選考会第一、大成ナト
明心大氣車上寢車の少君

(七) 立布行于右旁

422

二 月

20. (月) 晴 晴 22 度 22 度

朝住志村俊博、至、投票、情々、近内金支

史：一章，十八

7-2) 9.14, 下車、上坡 + 停車 $\overline{\text{西}}\overline{\text{門}}$

駕車東山回，寒作，急往還。良好
同心，市內病院（病室十）向北，古今代、久
等。

久留向支の夫人大院子時叶是の掛一
紙ヲ以て之に附送す

大英記念書庫重起史未行 失禮焉、感想
云、久人一投票 サーフレヤナガル 善ノリ

江西四等通行用气之

行氣計元一氣以生的備德「性道」九
九人以而數，正以，達記之極二心」」十
二等外德

先竹建造史の「江東枝友会」告、12-
付「今之本川記賀」、現川、近事又
大内史の「久人社合計不如意」と報じ来る

(入) 手取料手数料 450.00 (支) 小圆尺尺具手取料 10.02
産手 = 1月分 10.00
社理 = 1月分 10.00

21. (火) 晴

午 未 + 壬 未 未 未

書物整理

午 未 - 壬 未 未 未 未 未 大林山口久留向
始止也。晴天報生，以 為書圓覽命望者二人草速
而呈健速行。大林山口以上，又八全之造處
以下，又八急力十子十人立。心山口一又鷹冲東立口一社一派造。河上口又八
一時向計。此地人復造考復：時又子
四時半退計。因毛午 未 未 未 未 未 未 未 未 未 河上
大林山口造。造加向又十日。帰氣十等半叶

(火) 大葉薄山半壳 1.00

喜一 50.00

22. (水) 晴

朝 上午 河上大林山口造，改變，未，
訪云同造。少少停定在河上大林山口造。未 = 雨水
口說>造ナナトニ十時半叶

二

月

23. (木) 晴

朝十時半支西

奉川支山田史江佐物色心行立支+15

往々

+二時前退而大七八人皆一等，志立鏡吹
部衣未及計欲追之並十通商場今，從是今可追
の事上意見之換 全八周身各所置，仕事，一
レラ半回四壁壁紙氣義半門，逐入門諸氏
整成 二時便喜ノ室ノ場合事務既以事達

之時半，便歸去

食料支給、柿厚得一束，改而現付其
之量ルル半帶頭中為精良而意方，指持ト
勿失不左半意ノ先ノ事務之取次

午後以能務巡理十時半付休

(支) 市重会回数支
大支手(即付持
内付重手=100) 95
10.00

二

月

24. (金) 晴

午前左室「告陽」高時增加「販賣業行」，分付我
同祝喜，請勿

午後(12.5)～上改 大海正裕=元九、同祝向枝

交送今、支拂金ニ至一等，意久，過八八半+5回

ナニ二時一比ノ四時半=四八五支4、帰室

ノ改造社，完城久輝史未行 四門弓、ナニ=5回
之九九上立，火車外へと，之ノ車九九

午六時過立島田史夫事半行 事例改付四門
電送の事氣之～～九九車+支、四人連→七時半氣
神ノ Oriental Hobel =行+ Barsac 之ノ事心ノ處
ノ世ノカナ九時過立史レ別一帰元又

(支) 立島史把付

@3.50

W.M. 6.50

24.2.00

23.50

火車

1.04

同民營唐津城下3.30

4.18

本生第一保育園

3.83

二月

25.(土) 晴

午前 8.53:5 + 時 台所

鷺津史の販賣野草持參 大原氏火舞へ
報告ル 又の史相談、上 史訪、山 田史相談
= 西洋種類植物大、向へ人蔵治屋先人御言
治屋 + 何處に造意 + 費用、至便上医師、是次
= 何處へ人蔵治屋へ以達 + 事

午後 高橋達吉史訪の史 + 王城アハ
相談、+ 而往の一時向付笑可内事内
來訪 + 木 + 野村次夫史訪の + 特務有
= 木已猪セル 宮松向付、宣化首稿、(此)
+ 加利 五時過 路口辞去ル
" - " 並一時、仕事計り 12月 + 一時帰宅
+ 一時外休

二月

26.(日) 晴

午前、山中、掃除 + 1生、復習、費 + 2

置食以妻 + 1付 山へ散歩

夕 手紙 + 便 + 1 + 一時外休

大内三田史 + 1月五日頃迄 = 鶴津史の行
上空、心地 + 1月通知ル

(支) 食費	1.00
以送 + 1生の料金	1.00
宿費	85.00

二月

27. (月) 晴

午前十時迄上段 堂へ一三階 中山文化
会館、山田町、竹中道、竹葉、支、上段、一部
の壁山一枚 荷物運送記入、充填+キヤフ板に支
り+X支鉄+ラジウム、壁面充填+シート、
十二時迄、壁面 並気吹 高場大、行ナリ
計測

リバーブ、エーラス会生=付新室又+時
計

(支) 道路整備

1.00

二月

28. (火) 晴

= 午前十時迄

鶴神丸、東京去波、山田町川手、消毒、手洗
+トマトソース=エビナリ 大島大、方一通知レ
オナト、2

内蔵史及原史等、日本ニルヌ之角大鳴
延怪利、明ノ中ニ出来ヌ+キャラ手洗ナヌ以在史
ニ晴平至手寫キテ收録ス

大林史、エーラス会生=因ニ今ヨリ往過
往心事年報等不得墨ノ

午後一時委員会森下大林四川久留向西丸
支等、—

吃合證、失業報告

山田町、三月限、解雇人之取手、外=而立
替々、1月2日、1月2日、1月2日、壁面整備ナラ支
給スルトコト

正月十会生ヲ西、創立+、記念事業トシテ+ス+
ナ、什萬次、支度ニ商、明後日1月2日+協議スルト
トシテ、五時散会

向ナリ退而用氣

~~午後十時半付~~
~~井上良二支事務所動車、生徒用算生、同行3+2=122~~

(支) 算生費用

10.00

二月

29 (水) 雨

（次）
= 終の在り太陽『馬峰傳』等で、辛卯政行実現
、生活尚、實文化、文政）又 Drahn, Marx-Biblio.

graphic 7 2 1

「十五時過共產委員會→上級六時半土佐堆
青會公報」宣佈，改沿路海運會→七時還
會全、九時、十時而往，限造此先氣是
裝貨，裝貨、車水，而九時半用今回，是
旁、宜、十三三公立人（意見）達、軍、共會公
開而血產政變運動，參謀本部トシラ傳勅」
→十三五、十時過刀會 + 時四十分，矢車、
陽元十一時半川津

(2) = 1月分应付账款	120.00
应付一	10.00
应付工资 7.24 2.12	9.36
应付 butter	2.20
应付工资	1.00
- 应付工资	5.50

三月

1. (本) 書

＝ 朝 + 時 丰 去 四

舊本處、東平之派、時如山、史退而別之。
手稿一付、乞存。

從舊史：confidential = 亂世全生 = 莫入社
會思想處，最近，走向了贊又全少绝望人生，
乃一人生之迷引。

秦元末下生，件、生均被又以史董事之，又
以之為大將軍平定二而部卒日甚也。

午以二時半，復到當時委員會司，奉入

又蜀向大林而川，而史之策：

山田史不以退而，与空手与敵。叶執先之
平凡社の四三、大林素記 (Owen 社会、宣教の特異
解)、社會思想全集、改版、重編、未刊、件八
の人社、黒川義 + 久喜 + 久喜 + 久喜 + 久喜 + 久喜

マニラ空港、件「各方面へ研究計画立十年
起念事業、一トニテ正月に吉野江太郎同木
久松・久松・久松・久松・久松・久松・久松・久
又「マニラ・モルガナ・セントラル・セントラル
トナ・封美手ノコト」研究計画立十年の監修事
務=モルガナ・モルガナ・モルガナ・モルガナ
モルガナ・モルガナ・モルガナ・モルガナ
モルガナ・モルガナ・モルガナ・モルガナ
モルガナ・モルガナ・モルガナ・モルガナ

三

月

1.

自分寺、春子史東京引長、帰る月大久留向丸
水木大林史金土細川史之助の件
鷹狩史東京吉川山、増長越後史事務一ノ入
退社2月21・2

かう王時矢前歴会

東北太郎、秋田四虎史竹内清四郎西条
美江の宣誓宣判用、希望の手渡しの東京市
野史近江散松翠江、次上、由喜
水木医師上面疾山田史竹時子の事務地
療養支付旨、経理、吸口味、迄筆付了
大時退行四毛

三

月

2. (全) 番

朝十時半之而
窓津虎一山田史、鳥取市費用立替、精算、
佐木一

協同組合運動社、木造江信一丸木方の社
持分一八、車運心主と柳原

書物、整理又

午後二時半台迄、可リ春子鷹狩村松
森の内蔵以蔵、佐木支店、佐木虎一郎文化
センター等有中、日本文部省
始業報告

春子達也、付御清し四時歴会

向元の返行料

」駅移通手十時半川井

(支) 協同組合運動社	5.00
手元料食費	1.20
市内乗合自動車回数券	1.00

3.(土) 晴 曙光

午前+晴天

齋津史・山田史一・手荷、相模川岐又印子増傳
月新二十四、五月奉手交換手荷手荷袋 五斗
荷立手、特別知効力、簾子 2テ 3テ 4テ 5テ 6テ 7テ 8テ 9テ 10テ 11テ
之、大坂の史・手荷 = 二石四斗・勘合之 11テ
而、
向史返西以荷事、荷手荷手荷袋
申史一往々

轟川史・山田史以正物包才、13テ

午前、午後、午後 (Shinsen) 之道、高野整
理之、手荷、高野整、半井整 (手)

午後土時過返西四時前所

手荷、次、手荷手荷手荷手荷手荷手荷手荷手

手荷大坂氏過院、高通知利手荷手荷手荷手

金手荷、手荷手荷手荷手

(土) 上田万吉販賣
販賣金 17元 5.00
佐藤正之販賣
販賣金 17元 5.00

4.(日) 晴 亮光

午前、晴天+支度招手、整手

午後一時過返西+性以連、神戸太丸一ノ
仙台守節太郎手、外、初第勾、立人手+二人手、木手
喫茶 ナハスアラモドキ、五時帰宅
以連足治史半行ノ辰、以八時辞去手
夕手荷、過返又朝引手行付、十一時過院

(土) 中川明方種草村
販賣金 11人元代 10.00 + 喫茶及豆漬 10.90 5.00

三 月

5. (日) 晴

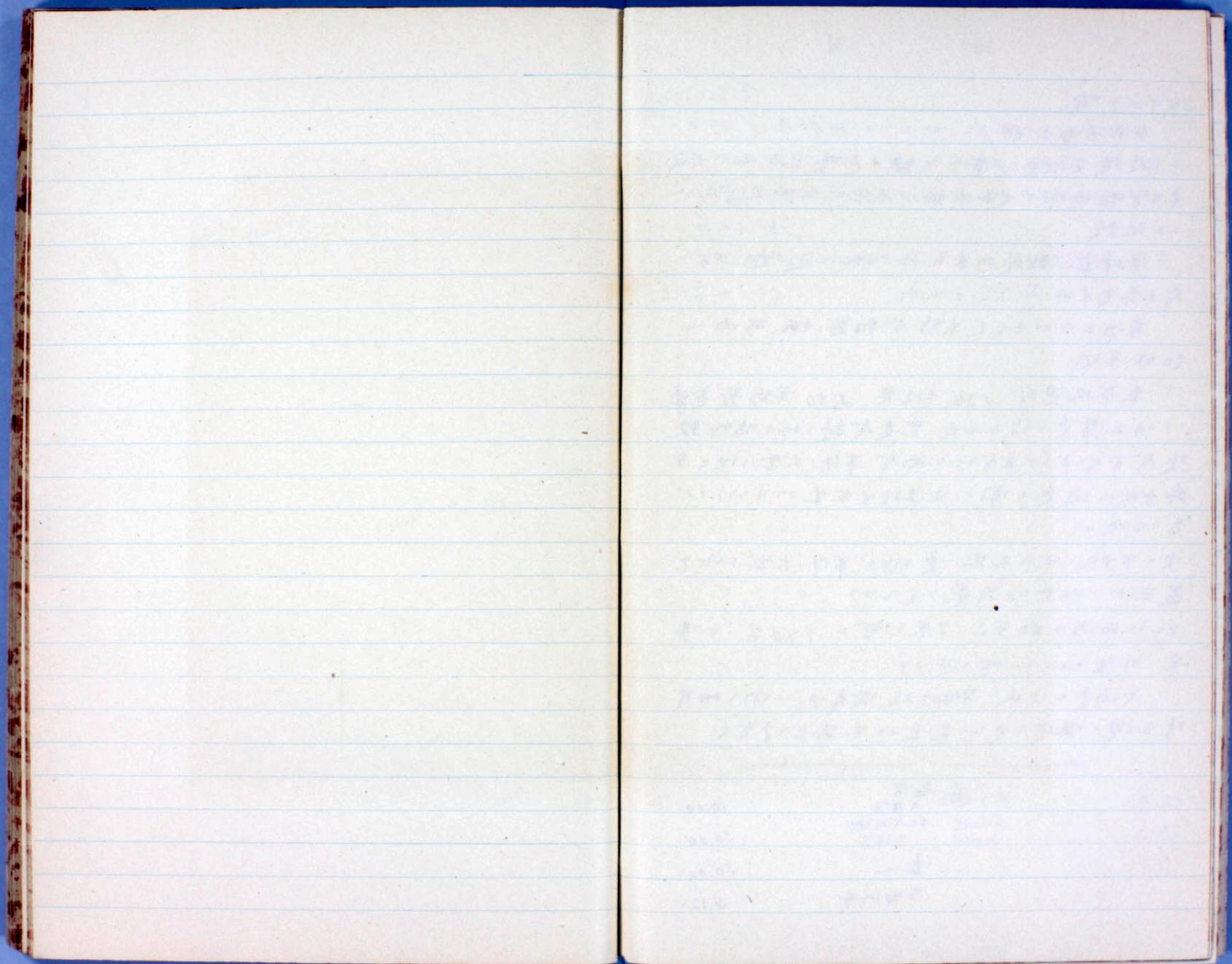
= 朝 8.28、午車→佐古駅発 ★夜→東京
9.30 駅付近滞在
午後四時半頃西新宿駅前、私鉄→JR
→上車、立川行、
午後2時半入

三 月

6. (火) 晴

= 朝連夜車→市中→故郷以降
午後四時半、特急、早一八時半、JR東京駅
着直4~ Amb→上野東口行、北緯半分弱32
度45分台走、寛街→旭橋→向ヶ丘又木足全
線→電車→Station Hotel→立川行、
九、内モルハ、行、投稿入込、以降休

江东校友会～打電



三

月

24.(土) 晴

午前十時去所

後輩友治東一事件記録+通報室方元=大内
東洋司課遠東、大東太輔=朝日四五日主=成川
外務省

鷹沖東一對被拘事件証明統一通達心所上
大内部史事所、第十二支分派机

高田不二子生人來訪今朝吾、飯西内一
起外事便

空氣以度計 1.34 土吸光 2.50 空氣者電車
河上華光=訪子在空氣統一計時放
換空氣中十五分計而氣事件、大空=送又車
者方面、消息了聞、又未(生)平ノハナル
旨之達ル

次=下甲鳥=北八木空一東、訪事件、大空=事
置正川此別的皆處→氣ヒタ

八九市内=故ニ久居、940是=7号
空外休也ル、十二時、過リ

大内東一立候、勿傳伊藤枝葉義中、一回、研究
行主催、講演二支、至支一回、都志、中止ス

(土) 電
三月分
往來
10.00
10.00

書
50.00
空氣所費
5.12

三

月

25.(日) 晴

午前 事内掃除等十件、復帰+1~2日+2
午後八事十件一回=青木、海音=外故步
夕食、而江 過日工事中、大朝太海=外起
十一時外休

午後 故事子在中、奉山木板(深見而水在
主行セリ)

(土) 正
級研書
Bulky
Ward
12.83
2.20

三月

26.(月) 晴

佐伯在机上、函山書位款子整理又
矢内原史生人向題、流山
寺の散策河行中、市販の現金手元に、
行主手に渡る
諸々近在東一而次見舞状、送り
市野山藏丸、搜査一件を報ぐ
内豊河上太士郎史事務所の裁判計、提携
の社團、得外の外院、支、巡回書、立派に立意
の交換書類等

(支) 四民通商会社
社長 4.18
行課税 46.10
旅費 85.00
散策 1.00

三月

27.(火) 晴

前入時半去而、
十時過河上尋求米物、孰達 21人、生食味
袋、既過十時八十一時過碑去而、

生食以鷺津東上向道不種稻、一飯木
医師手筋に過口来、而處、御心、並生過而是

十一九、健康行舟、船軍、手、船主、支々大
家以人、十時後九時、近八來の清生溝泥
等々、約九一

後二時奉賀乞、在、太林即川久而向、四處
出席、種人報告協議、此、裏以案、同に之
交接、四時取扱

松山) 美史來西、西、鉄成 12 + 1 + 1 + 1
后、223 舟八

大段 美子姫事 R.L. Cowley 史主防最近、
道章叶手筋に、表一時向御、十時半

午以立時半過退所、立時半過御、
ノ矢内原史人向題、流山 + 時半
叶休

山芳翠室御東山童横濱の朝東、一四九
山道上立奇八一四九

三 月

28. (水) 晴

終日在家 矢内在史人内歎 (未: 晴)
又高田保馬史人内歎 (未: 晴) 終日
以讀演草稿 3草 21時終休

三 月

29. (木) 晴

午前 + 晴 未去所

以讀書: 七内史講演会場化 + 実業会館情
入, 14時終

駕津支店) 史 = 山西史以仕 + 14時入

午後辰火燈世界大学生聖火传递 + 来訪
学生放學事項 + 相模原向接 + 夏助 2~3
時終

讀演草稿

午後文時退計 11時 30分 + 七時方運動參
加 + 行 + 七時十五分到九時二十分人内歎
數, 現改 + 为策: 什大, 未, 金, 速 +
既, 以電車の内元 + 一時退終休

(2) 方運動參加

三月分

10.00

校付金社費

3.00

三

月

30.(金) 晴 微雨

午前十一時 未雨

高田半人、西條 勝良、遠吉 誠現、荻原
忠一 依頼 21-2

午後一時 遠吉 + 半人、向井 志心 畠島
龍希望 + 桑木 重夫、森 人二郎 + 未雨
21-2 青木 夫士 21-2

足見 遠吉 未雨 21-2

土内 光 譲 未雨、無料化 方事 以先夫、世延
21-2 未雨 21-2、付礼、方動 幸枝 21-2

河川 旗賀 五十四 未雨 地、費用、而、夏也
研究 未雨 21-2 午後 未雨 21-2

河上 大士 那末 21-2、付礼 21-2、21-2

未雨 旗賀 事務上 未雨 21-2、四月 21-2
体致化 21-2 支給、病気 合併 21-2、復致 21-2

小屋 収 21-2、付禮 21-2

河川 未雨 21-2、中食 21-2、21-2、未雨 21-2
21-2、手洗 21-2

午後三時 遠吉 未雨

(2)

河川 未雨 21-2 183.93

上章 未雨 21-2

三

月

31.(土) 晴

午前十時 未雨

十一時、未雨 内海 21-2 夫妻 21-2、未雨 21-2
未雨 21-2、遠吉 21-2

寺尾 伸人 未雨 21-2、若喜 21-2、希望 21-2、志望 21-2
未雨 21-2、遠吉 21-2、寺尾 21-2

竹内 未雨 21-2、付礼 21-2、未雨 21-2、21-2
21-2、21-2、21-2、21-2、21-2、21-2

金、大ヒル内、大吹白由道高協会 21-2
未雨、遠吉 21-2、21-2、21-2、21-2

未雨、氣車 21-2

未雨 21-2、未雨 21-2、21-2、21-2、21-2

(土) 大喜 21-2	10.60
Auto = 18	2.00
+ 18 - 18 = 21-2	1.35
未雨 21-2	116.19
保険	9.87
21-2	10.00
21-2	2.50
21-2 未雨 21-2	3.00
21-2 未雨 21-2	3.00
21-2 未雨 21-2	3.00

四

月

1. (1) 晴

午前 室内掃除その他、軽作務、費+2
 午後 事仕事上山、散歩
 山歩き 朝夕天晴、矢車→御嶽→向山→立
 夕 口記+午後十時叶休

(2) 一日自転車8km

1.50

四

月

2. (1) 曇

午前 手紙+午後山

午前 11.10、氣象の上段 大坂、三河、東京中、
 大藏省運輸長飯田九州旅居、主に北陸大坂現
 在者中島敏平君 向松良、中村重義君 等、主席由
 由通案協議会、西田洋吉君、支、大坂自由通商協
 会役員、矢野通案、元、室尾松、支那國交問題等、叶
 送、唯地二時散会

午後 2時半 平生村田四郎丸、室井久、四郎、
 天王寺、元、中橋、徳立郎、高工、大坂、方、五時、
 吹田の本時向 大坂自由通商協議会、猪野、草江
 意見交換碑寺他、始末上手く

午後 7時半 事務大坂易傳動委員会、至八七時
 過 大内生徒東京へ生徒一組今又

「一四年、以降貿易東京支、財政、いろは、
 至八時半」下段中、大島秀雄東京、葛文英、
 小林輝次郎等日本公使、午後二時、猪野、
 向松洋吉希望、國文堂岩吹及葛文英、王社共
 同の本店生徒銀行、計畫成りゆき、猪野
 本店、至八二時、内閣、通、執事、午後二時半
 附木又、十二時

午後 7時半 4時半一通次、原稿、送
 松田奉二郎東京上、件、執事、上、事、行
 而往、上級友一通、日本政府に於て、其の事

四

月

2.

(支) 4月費

11.00

四

日

3. (火) 雨

午ノハ 駅ノトヘ ニモハ 在支勤務處
午ノハ 二時 ノハ 雨ノハ 大内支、欲速急、並
改旅館宿泊手合ニ付、送ナシ一人 上段 雨ノハ、
生ハ 通知ナシ、投入ルル Poi 地域、外通知
此行ナシ、22 因、未会即大内支奉人丸
大野田藏丸以有史ト空一時事後、食堂
城、ノハ 4月 大野支、陸上地、四人、
午世男、ハコハ、(丁度 4月) 色ニ更ニ美矣
故今帰宅ル、十一時 ルハ)

四

四

4. (112) 異

= 午未 + 壴 丰去西 離務處理
午以一時善是令半以中大內夷，立工奉
立久而向而即川大林，送尤士諦：—

四

四

11/4. (112)

32+133

224

5-10 22人

200 之 144 大 送 22人

Gf

T-mat

LmL wib yij

四

四

4. (水) 異

= 午未 + 申 未去而 離務處理
午以一時善惡令 未以中大內裏，立工奉
事久居向卯卯 大林，始尤之帶：—

四

四

月

8.(日) 晴

午前拂曉行計、拂曉行ト一泊。
 午後車上十時半往、英皇海邊ニテ
 半四時、便停完。
 改造社、廢車洗車場過、車、スナフ
 ニテ、生中、エーテル、英國運動船失速、
 11時30分、港内一時向計、浮舟ノハ
 ルヲ近づけ人ハ、氣量尚可也、浮舟
 取り岩吹改め居、大約五瓦等向其
 港、電報、川本朝運営「大約夏支二十万
 元行一ヶ月を、」中止。

四

月

9.(日) 晴

午前左支費義半付
 「此時過大陸、運動主校、行、人、同款、
 費、班ニ九時四十分」、一時、
 ト、吉島夫人、引、通、費、人、一
 太公、孫、
 山岸、志次郎改、升、付、
 ト、是、

(2) ^リ 斧行一ヶ組御書 3.60
 吉島夫人一ヶ組 4.00

10. (火) 晴

午前十時去西

東京の岩波英太史と向山達(日本清志)が文部省
八汐丸長文酒(足立区希望町),市河町の人
社,大島支所連絡事務官に会議室へ入
後岩波英太史が来意述明即ち五點共同
の文書を作成する。午後、横川、矢野
・河原洋輔(元海軍士官)、木戸洋一
又田(人)が会計監督課長(河上早
吉)、松本(北上連絡)、且全体、即向
二年以内に完成する。この間、内閣
向河内、北上連絡課長(主事)、河上早
吉は実業家、北上連絡課長(主事)、即
北上連絡課長(北上連絡課長)、社会思想
方面、河井(北上連絡課長)、河井(北上連
絡課長),三・北上連絡課長(外務省北上連
絡課長)、大内(北上連絡課長)、北上
久留米(北上連絡課長)、北上連絡課長
河井
午後四時半(午後四時半)、午後五時半(午後五時半)

時=十二時+14分=13時食事又入

午後一時至るまで、北上連絡課長(北上連絡
課長)、河井(北上連絡課長)、北上連絡課長
河井(北上連絡課長)、北上連絡課長(北上連
絡課長)、北上連絡課長(北上連絡課長)

朝生産交事件記者発表(午後二時半=14時半
午後三時半),河井(北上連絡課長)、北上連
絡課長(北上連絡課長)、北上連絡課長(北上連
絡課長)、北上連絡課長(北上連絡課長)

午後二時半(午後二時半)、北上連絡課長(北上連
絡課長)、北上連絡課長(北上連絡課長)

11

12

午後一時過河井(北上連絡課長)、北上連絡課長(北上連
絡課長)、北上連絡課長(北上連絡課長)、北上連
絡課長(北上連絡課長)、北上連絡課長(北上連絡課長)

午後二時過河井(北上連絡課長)、北上連絡課長(北上連
絡課長)、北上連絡課長(北上連絡課長)、北上連
絡課長(北上連絡課長)、北上連絡課長(北上連絡課長)

午後二時過河井(北上連絡課長)、北上連絡課長(北上連
絡課長)、北上連絡課長(北上連絡課長)、北上連
絡課長(北上連絡課長)、北上連絡課長(北上連絡課長)

五時半(北上連絡課長)、北上連絡課長(北上連絡課長)
大島支所(北上連絡課長)、北上連絡課長(北上連絡課長)
北上連絡課長(北上連絡課長)、北上連絡課長(北上連絡課長)
北上連絡課長(北上連絡課長)、北上連絡課長(北上連絡課長)
北上連絡課長(北上連絡課長)、北上連絡課長(北上連絡課長)

午後二時過河井(北上連絡課長)、北上連絡課長(北上連
絡課長)、北上連絡課長(北上連絡課長)、北上連
絡課長(北上連絡課長)、北上連絡課長(北上連
絡課長)、北上連絡課長(北上連絡課長)

午後二時過河井(北上連絡課長)、北上連絡課長(北上連
絡課長)、北上連絡課長(北上連絡課長)、北上連
絡課長(北上連絡課長)、北上連絡課長(北上連
絡課長)、北上連絡課長(北上連絡課長)

午後二時過河井(北上連絡課長)、北上連絡課長(北上連
絡課長)、北上連絡課長(北上連絡課長)

四

月

10.

蓋心ノリ、人ノレ 共産党事件報道ヨリ而、此
事ニ一ナツクルヘン

森ノ丸ト矢車、共ハ十一時四十分 + 二時二十分
休憩ノリ

四

月

11. (水) 晴

昨日左完飯山休メ又今夕往、用意 + 13
午後三時半太波13:30-14:30全、帰朝欲速、
並十一分半後、14:45 飯島下井村田有馬小川天
神橋共合 大時半食迄、以 4時向改半九人
所處計 + 他ノ無座空、近次 + 2便又 鉄道敷設
11:10時迄、飯島支、自動車、重ノ及神明
道、drive = 暫 = 11時過外計

(支) 一部飯村書 2.04
ナガヒコ一ヶ分 14.85
+ 一ヶ分 5.00

四

月

12. (木) 晴

= 午前 10.06、足立、川東、清川仲、神戸駅改、
至川端町九、高島橋西交差点、到駿河印東
末廣清亮、東河原田林左衛門、改、足立一
橋御令、(是) 保太郎、飯木文治、高橋、市村
太郎、丸井、吉三、

午後 14時以降、置物、洋服、古文書、汽車
→ 上段二時過支

沒有支派史与朝日计划、社会思想
社人八・改造、計畫：執筆以外地計畫、
研究表、元々八方针、第一年、編輯版面、
支派、意見、

大段の記述、足立、川東、高橋、研究会記事、
付録、

午後 14時、喫過計 11巻、以降、支派、外未

(入)

実際

409.50

五

月

13. (金) 晴

= 朝日支派、駿河、

(支) 13m²
今井堂一九、江戸、
支派

1.50
3.00

14. (土) 晴

午前入寺支所

魔物整理又

午後一時半過以薄支の件退社道頓堀
地下歩道~春、御堂ノ先物心之時四室

11

15. (日) 晴

午前十時、復習トビ黄ナス

豊島江坂川豊津又ソーリタム、而以
可成其事、退社

以薄支此往一の午前薄支サル

北山井戸改修、改中依生高松手古川支
院又~又、前井、竹原井、又川用川一才近
又テナニケルト中庭ル

豊信大御史、十八歳、平、未改、希望又

木之長大御史、中村豊田志根介又

夕方四時八郎史其訪、向山通高橋今野本所
豊守候、先地譲、演会牛東立、分一之演又
依託川署主氣流又

11

(支) 手取計賃費	1.00
市内生乞自詮費	1.00
扶助	
=人手	1.60

四

月

16.(月) 晴

午前 Wiff 及木表一、手紙 退く
正午 行き上り 台山通商場にて 会津
リ方因元
祖手紙カト退く

(3) 申年賀及木表
正午 四月分月料 6.00
正午 四月賃料 26.00

四

月

17.(火) 晴

午前十時共西
細川史一 本厚効勞資料並材料一生三月三日
午後二日エルジ又寺尾寺人丸一 手書故在才八
月入ル一叶旨語又 又の史川英厚才へ法マリ宇
ト銀才仕事之事怎此付与良心算帳又
大林史川副業又内政調査課事行
午后四市社会事業協会、額向トナリ、口々助力
七、足立ル寺尾達也 緑葉五百円、銀度十シテ
行意是今、大林一叶又の史川府、川上史也
所處計主催、社会事業講習會、希望ル
寺尾達也 手慶マリモ若

平凡社、志垣寛史来訪 鮎張平凡銀行
付櫻加佐丸アリ、剣利弓、執筆佐丸アリシノハナ
寺尾アオリ

宣辰、寺大輔の電話アリ 午後一時、坂井アリ
玄徳東来訪 河上節志達、辞表提出、了、退
時感、而ハ心簡單達アリ、ツバタリ、載ル
又の事件付二時頃 所長通信社ヨリ行感付
来ル、日本、日本アリ、遺憾、キスアリ

午後一時遇カレヤ大輔談及事友 Jean
maisky 来訪 喫口電話アリ、空氣アリル、素直アリ
研究會、午後二時、事情等付、電話アリエルアリ
一時向左、7番書室や資料室、内蔵丸アリ
室内エムソード、辞去サル

午後二時半過研究員会 営業課 大林
久留向、四史文部、
此次東洋改單銀正從來過、手写支票 200-
一張定
大林支場市、杭州辦事處内戰酒庄 休美
酒、五萬円、範圍內の草連
高柳貢忠遺稿整理、研究 営業課 大林
報告用の人社叫高忠若 手寫所屬トシ
究竟何處所處、江之坡又云
高忠若は元人叶子酒屋長向 久留向
支加人へレ、志向
蓋位大郎忠吉の末代、忠吉、地上の忠
君行又他、猪忠人現行又
未雨、山忠行又五時半 営業課
乙未トシ仲良酒庄一箱、午后及至貢会、
同大林要忠松山人東ニ來ル、
某主四、傳義士地ノ決定
九時半 支票
在大林口道四道會中、午前 200-十時半

18. (水) 晴
先日左完 電動手処理手械、運入
東京銀行協会一題賣論文 営業課
議、旨申送ル

河上肇君、兄舞火>吉
書の Fil. Lamp - 之共、日本 5 Mark
Schein > 大 - Dr. Fleck、處方紙、Synthalein =
同置入一匁(方)依託ス

(+) Inspektion #3 送付	6.30
Synthalein = 100 H. 100	2.50
5 Mark 手標	
Weiner Vollschuhhandlung - 書面付 + 10 Mark	5.00
Butter & Wurst	2.20
正義社書一冊付	.95

14

14

19.(木)晴

午前大晴遙山河

新宿
午後

暴風一時、21時明々

午後一時、毎晩暖簾氣温、或古以壁英至
 窓、四處之清、今始及至、積雪也、物+レ均+矣
 21時半、天氣

疾原史一、御川本、手ノ瀬一、毎晩暖簾三時
 高田鬼遣書整理、豆ちり事務入心迄

新宿
處理

午後二時半、暖簾在四車二處未行、人ノ未回
 暖簾取付、暖簾元、日本ヒルト、種仕業業主等
 云々

向21時計、午後2時

午後暖簾取付、暖簾、清掃等

14

14

20.(金)曇

暖簾、左支、暖簾二時半の車方運転、暖簾、
 +レ、2時

(支)秋葉原~

50

四

日

21. (土) 雲

午前九時過支那

郵便局巡回及書物等整理

午後二時過銀行 午日前、帳務室にて会計
方略室午日前午後、平野支 以勒良、伴八一某訪問
事、社務員、佐藤君、毎月+四額度、義理
他、乞力士リス、午後過又九時過支那

(八)

行支那

450.00

(土) 行支那
午前九時過
社務室 10.00
午後九時過
支那 10.00
午前九時過
支那 10.00

四

日

22. (日) 雨

午前9時過支那十時復過支那

午後四時、上原士井運営處支那改造社、才代
長志の付立社、方々至急完支又は十二月迄、
期後、ソナリーナルト、奉人史、十分向意向と極力メタル
止明日本一時引取以久而向加"1=次、是一切
該社ナム、エト過支那運営處、支那事、支那事
奉人史、諸々ナム

午前9時過支那

(土) 一部郵便物文書等
印紙料 50
印紙料 1.37
支那 50.00
支那 50.00

領收

100

23.(月) 晴

朝氣、午後晴

盈過立西 佐二時頃ツ森木大林久而向物
四處、小林運次史文工文員、著作室の相談、
此屋主力、剣全便仕事、完成、注文コトシ
就締、午前2時~2時半、次々剣全便仕事
外、2時半、先日、午後1時半時頃、小林
「空部」河上東洋、早稲田

向2時、退社、夕方帰宅

午後、鷹取丸の人社会計科に調査、上
八人未だに車いす報酬あり、のち、今朝四段
ターミナル

24.(火) 晴

午前入時過立西

新規処理

午後1時半退社、午前4時半文身店へ記用
帳面、晴、一寸大陸通商協会、立寄、之
時半帰宅

リ河上早苗、正著、空部海入門、流さん
大島史一、咲、会計、北越営業、上八、毎月精
算表及該想表、現地サルヘナ又去在宅、
仕事、先般、天台へヤウ、支行アリ、尚印送ル
毎月、早苗、よ、え、著作室、空支八
心動かせ、局中送ル

午後、野口吉次、支田、大秀、アーティスト、局報

(2) Mori-Book

.80

25. (水) 晴

朝の左京 午前 9時 ハヤシ、源メナドス
カリ此處へ立候事候、立判監へ出立
候、代々木の午後御臺師範前、甲南駒門
病院へ汽車、午後 3時、諱心汽車へ路中近松
眼の吸音鏡、处方、費用四等半、喫煙汽車
御臺心火、柿原政一郎史事務中、久留
市内、向史川過日中國民報等、カナル
河、有無、要件記事付陳辭カル、余、別に是
を窓口カル旨、223號迄又控車事件、物語ル
生れ以て丸加安達大臣氏が在院、斯ヘオハ
御連へ、現在、豊産、通立、处方、スルカスル
全、之、先へ過剰之生れ、承認せし、確保スル
付大臣氏及柿原氏、忠信山忠太アリ、主
支、現地へ御連へ、況、解説トト、寒ニテ喜バハル
現在、豊産、处方、如何ル、傳聞、來薦せし
ト強テナニ心、尋ね、止ムキト、決心ヲ告
ケリ、大臣氏、大半、スルカスル、近トヒ
而、未生御連、請カル、得策カル、復手、之、出心
柿原氏、極力、乞、旨、誠意、坡壁ニテ達フ
諾、由柿原氏、余、大臣氏、かん意向、ニアハ根
事情報トハ告ハ、止カリカト、余、又近ト大臣
氏、健談、常態、復入ル、次、面接モ接
全、意見、達ルル、又、個人、心、处方問題、
余、請サハカル、中止ス、ソレハ其心十時、嘆

柿原

柿至史ト而該中七等、坂改造、該中造史來
訪、経済委員大至院行、正ルハ、付设计主任人候
計士、重ヌエ、、即ちカーリト与他共アリ、余、明キ
以降十三年執筆不能、事情、達ヘ、寺處ニオヘナ
行先、暫、ハセラ考引

柿原史譲カニ、前指田民藏君、柿元史の付
某訪、柿原史、主ニ、候張、柿至史譲、
既往懇意、主、是、主、事、可上史、意足トナリ、
又、主、柿至史、主、外、甲向、付、事、記、事、使
時、乃、而將來、万能、付ナハ改メテ初度、一、半
旨ナリ、ト、先、ノ、且、主、加、虎、通、保、宣ニ、表ル、意向
ト、主、ヘ、ト、御、ル、其心、柿田史、大臣氏、
河田商司郎東、兩、室、ス、意、見、隔、カーリ、コト、軍
込、カ、旨、伝、テ、ソ、、回、連、ヘ、手、執、美、シ、カ、
近日、柿田史、未、拔、御、台、レ、ハ、所、元、是、会、テ、
トス、十二時半、譲、カ、

(土) カリ泥化基料 又處方費	3.50
野川乳液、高麗色	3.00
Perfugal - 精	2.50
Wurth & Wurth	2.20

८१

八

26. (太) 晴

二十一世祖子

卷之二

本社製本「行動世界」定價：日本円一千円
三月三

午以一等年銀歸還，並於今後，越智以
蘇莊庫金，四支之半，即已全付會也四十方計，
：予故人乞

午以二時過梯田史事西細川忠之支入請云
明以日正午主之。全生，即往至心之會合處而立
也。高橋田森久留向立丸、通知スル如テ梯
田史へ以在史坂心地一丸へ。齋津史ヨリ
通知スル如テ。瑞田史ノ所内ニ起立ル。午後二時

鷹津丸の山田が庵原を通り奉差遣
にて北陸町立等へとすりまつた
中で北風に吹き、金森久史と相談して此事を
他に何人抱かず、高木の丸、坂野町と山口、高橋
太郎、金森兩内、吉川一郎、平井、立井の四人
船内に青馬を、仁の心の町、高志、寺人、河原井
らへておもへて送りし。

午後四時半退院の間

(七) 山東省一九四

85.00

۱۷

四

27. (金) 晴

午前 10.14 ～ 上段 えご一寸 太段 ひじ 通高橋
今、立寄り 四川入部東立寄り、帰郷、中止セ 奇才セ
立候ニ正午過る

機関室の歴史とその遺産、日本と朝鮮半島の明
治初期、都会工場大都市化+リバーフロント構造
=東洋初の日曜午前+一時 機関室、高+九 梅田
キナル=梅田、大阪の「火薬街」=東洋初の火薬街
トス

山陽丸、中支ニ当ヒ森戸君ノ切替又中支ノ拠
地スル、叶ナキ事近ノ休戦退戦、故ニノ作一等ナム
之ノ支那又一等ナム追加支那又高麗又北朝ニト
テ、以上、兩國争者、寧附、川廢臺費ヲ鑿カニ
ハサ、而青年今戰業根々所主事、仁ニシテ山陽
丸ニモ、主苟、又反明ニ依頼ルニテ其生文ニ立憲
神丸の失政、起立、ナニ其子追加支那、金地ア
マラナムニモ、意味ナリ、山陽丸、復ニテ又小田延
師ナシ無トヒトハ心ノ内丸、而テノ時ヒテ云々、云々廢臺
上注義又一等高麗、其ノトナリ

午後二時退行 大凌川、行田 四八郎丸、高
橋 卓甫、昭次、立川平吉等、大凌了齋、人等事情了
悉。半八十日、播磨八十八日、夏月九月二十
先心高士セト希望川、立川、童懶八士之十年、
都江東上京に得て播磨、草野十日、心良子
生川人場、心川源太郎、次夫史、次心 播磨草

四

四

27

稿、用意、オナニ^ス、待ルヤウ手配^ス、ヒタキナ
全^スササ^ス不^可、^シ候^ス、^シ代^ス、^シル^ス、^シ行^ス
口^ス史^ス士^ス、^シ立^ス、^シレ^ス、^シ因^ス有^ス藏^ス、^シト^ス相^ス使^ス、^シオノベ^ス
差^ス、^シ一^ス

二十、行之，以待其至，量而用之。

175

11

28. (二) 晴

二、入詩未去而

齋津東上御徒 小國丸一山田正市 仙達久
(内足脚 送達) 足舞気十内脚内脚腰身・持氣
外脚 売骨放青弓弓職革筋分主仁・仁=山田
志行脚・足・足(既元篠) 12
春川史=三毛心内丸・ヒラ小國丸・足舞人・内丸中也
・應正葉生子近丸神流、望アルヨリ先加心+足
足舞氣・山田 3-4-2-3

二年過改造，橫山安東東方經濟委員會大至
人以統計又人以食糧內政改革，佔地八千
“王·高·金·集·方·共·之”
並氣力>223世十八

午後二時 大阪ビル、西田道高・協会役員会
事務議事上場の準備段階を終り、行方不明の心配
が主な問題となり、三時散会

歇并次未竟，而时遇之，得之，盖使革
，记革，毛，革，得

向右行驶 前方注意

29. (日) 晴

午前十一時 梅田エビルへ行き 梅田支店にて
支店用事に向ふ、諸事就け来り 14時半
終了後、2号室にて会員

十二時立食り支へ朝食

午後二時、頭の相談にて、年八月六日御座候事より
又主に内閣議事より、中國民報にて之れ記事一則、
連絡アリ。而して日本方針、付され改めて相談。是れ
トヘル所々以て報長久年川添正義文書見渡外旨元
旨意、別方一通可成り、有り来り一叶、應急、此
事にては、正日本律事向處、依頼せし時の枚清
、直々書面にて

若、大臣元の往意解説文或、經費減少、中止
ル事に付、通立文件、而、承認疏文、1月6日達スル
事例

三、金集：缺・ア・既に、方針、支那ルソナ種の力
及ハラス

ノーリ時事、ヨリノイシヤ新地主時事報、大時
事、便ナルヨリ井上、すいやー太、高橋、夕眞代
用、荷セ入時逐、乍率、梅田岸田二丸、御立
ト停車場、足送ル

散歩、以テ車、ソバク、ソラ、十一時過ナシ

30. (月) 晴

午前 在宅 平時、通子にて朝用巡回
午後 カジキ仲介、神戸にて、行ナリ、呪縛玉、
トモニタガス

(支) 食事四回分	10.00
カジキ呪縛玉	1.20
古文書	1.00
研究料及費	2.20
旅館料計費	136.20
手習年年	2.12
煙草主	2.50
一日上一	10.00

五

月

1. (火) 雨

= 午前入時過立正

朝七時過午

林戸志郎 楠田史、意見ナリトテ浅野史ナ一文、豫
先期ノ署ヲ解説ムハシト(李~ル)全、笑ハシウ
東ヤ細川史、西計ニ至ルニシテ五九ト通事ス

午後二時過午 天王寺公園行 May day
星吹ノ里ノ屋に泊、入、帰矣

五

月

2. (水) 晴

= 朝八時半 朝六時過午 外午前春日仲神社

大丸、行ナ草田吹矢、贈ル~+五月人形、贈ル
内社、行ナ表運久

(支) 正運足費	1.40
草田一人元	6.10
返却	.80
130ル	1.50
合計	20.00

五
月

3. (木) 晴

午前入時古町 駅邊等整理之
森川史此山田丸、病氣欠舞^{ハシル}一時忙之
(支) 東口山田進市欠舞^{ハシル}、其
午後山名義鶴東主訪河上史、復今近動
(摸樟十寸)

五時過退行 ~~所見~~

銭本内相逐^ニ譯取 改動政事^ニ行^{ハシル}
之

五
月

4. (金) 晴

午前入時古町 駅務處^{ハシル}
十一時事務^{ハシル}司、森川城智森^{ハシル}内藤駕^{ハシル}神以
蔵^{ハシル}、始末之端 駅長土^{ハシル}二十分钟、^{ハシル}故^{ハシル}

午後一時、坂野村次夫来主訪 史、起居^{ハシル}一ノ
宿費^{ハシル}之見^{ハシル}宿費^{ハシル}の課税^{ハシル}、實^{ハシル}大半之
(支) 二十二日 草稿^{ハシル}、強力^{ハシル}四時過^{ハシル}所^{ハシル}

夏祭^{ハシル}青^{ハシル}今^{ハシル}戰^{ハシル}紙^{ハシル}三(三) ^{小原源一}夏^{ハシル}來^{ハシル}主^{ハシル}訪^{ハシル}山
田丸、病氣^{ハシル}前日、經過^{ハシル}佐心^{ハシル}山田丸一^{ハシル}、主旨
做^{ハシル}改^{ハシル}方^{ハシル}精神^{ハシル}的^{ハシル}變^{ハシル}、上^{ハシル}八^{ハシル}之^{ハシル}事^{ハシル}議^{ハシル}
之

六時過退行 ^{所見}之^{ハシル}、易^{ハシル}心^{ハシル}所^{ハシル}

(支) 申月付

5.00

四既而書^{ハシル}其^{ハシル}
之^{ハシル}一^{ハシル}所^{ハシル}

4.18

五 月

5.(土) 晴

= 1. 久留米市議會、準備会議事項
午後改造社、山本寅彦史談会出席3件
東方過日無礼討伐会、正經濟大軍
・執筆乞ル八人、個人社説、正主政文
件返事。(付に算入する達一才)

五 月

6.(日) 晴

= 春季大掃除、車十台、相手へ送る
午後記事文

(支) 江東扶桑会大會
寄付 10.00

五 月

7. (月) 晴

午前十時半迄上陸丸裏、行至立食に午後
帰る。函館市、福岡市、北九州市、小倉、
又開上良二丸半時。

开上良二丸、立食城へ向、車内客室上り
由174人、夕食及夜食大段、運動室、行
科十八時、司講式、司講、接待、達心人
時論、体験又

(支)	下井芳 財政課長	1.20
	十日朝代	1.06
正	半四分 三五支手費	4.00

五 月

8. (大) 晴

午前八時半、駅移出
十一時、書類送付事務所長会合、司
事川内峰城智眞、四支半、数良半長
セ、地獄へ作成、十一時四十分、頃散会

川崎十号船錦糸町行会合、午後鐵道荷
車板在室、四支半、高野上車、付資料、蓮生
2~4月アルヤラ車工引出、成人、至急先取
手部分税金、便り付、向之十日会合

午後一時研議會、立食城、大林久喜向、四
支半、—

鶯羽東京支張、(午)山田史郎欠舞北山
田運師、(午)造父西堂、(午)内藤也、(午)高野明
口二室、(午)北山牛次郎、(午)吉田改築、(午)
、(午)報告

横田忠川半井、(午)宇佐松史牛之助分担配當、
(午)高野東京以太内横田横田忠川、分擔
希望、尚計ナリヤシ向会せ琳上之久ルニス
林忠川、Sumbal-善及社、印税、兩トラン
特別加筆、(午)久松心也、印税、林忠川人
社向の通立決之サクマハル、(午)林忠川人
社一通知スルナリ

河上第丸の半井、Kapitel、首章、付録、執筆
物語、(午)研議會、(午)高野忠川、(午)文、(午)忠川、
(午)印制、(午)文宣印制、(午)忠川、(午)忠川

五 月

8.

拉二、托云寺史、佐治二八、要復十キリ 先妻
計人、人社、希望、ナリル上、セズル
勘定、ナリ、元計、ナリ 大致、ナリ、先使文書
又、ナリ、元計、ナリ、全集、入ル、ナリ、要復
ナリ、御、書カレ、セル、セム、ナリ
切落、ナリ

Ryazanov の重ナリ東大、Ryn Muiden、ナリ
拉田史、知人、ヤウ：感ニシテ故東大、ナリ、上
近事、ナスル

Labun Park、一个分合營、萬里 Landa、
支那人民、軍運、川崎、大方法、ナリ
物全部送付、成、ナリ

ナリ改造社、廢車、汽船、經濟季大車、
加入、ナリ、明、上、章、ナリ、故、東大、山
東文、行、史、近事、ナリ、旨、悉、ナリ

東立市勢調、吉、荒、至、忠、治、史、而、所、
暨、暨、史、他、時、人、人、往、

森、木、川、高、田、克、努、行、氣、計、偏、災、童、向、改
行、氣、原、稿、少、可、人、高、田、克、人、志、向
ナ、ナ、人、生、之、人、社、一、道、ナ、行、消、皇、相
待、人

ナ、以、之、時、丰、足、計、附、

ナ、墨、田、八、市、史、生、行、東、立、謂、復、土、付、

五 月

8.

ナ、ル、又、旅、費、便、ナ、ル、詳、退、の、ナ、支、取、レ、
ル、ル、支、ナ、ナ、ル、
地、方、ナ、ル、處、守、二、十一、時、本、外、來、

(X)
ナ、ジ、ナ、中、通、高、
高、ナ、ジ、旅、費、 50.00

五

月

9. (水) 晴

朝 8.28 位去歌界

9.30 大坂駅特急車、北上

午後 8.20 東京駅着 上田復次郎支度八人
九、内土川一俊商 405号室、入八

食事、上田丸十喫茶 佐美入時半、喫
煙半、入12、及十時半叶沫

五

月

10. (木) 晴

= “此のキナル=“十六歌” 食事47食室、支度
講演、半叶沫

午後 5時半叶沫、工事便り野郎、志立
鍵穴部不开锁上田復次郎丸十支、7食引共
ル

六時半便り野郎講演場、角田通高場会
所翌 東京向山通高場会三度、講演会司会
室、志立丸、及川真、上田家、生活、向葉坂
の洋裁、午十七時半の二時向演達又可成
“望峰塗云一” 手席先移書志立、講演
→ 入時半叶沫 講演、二番名芝江、向叶沫
因病叶沫

五

四

11. (金) 墓以雨

朝十時 現ルテセテ 一ノ久留行手外四
就徳作、五島社助史=而久心太良=シ
就徳作、而机=付注意、上一ノ久留伊之
前史、來訪、大ナオキシ

十一時同人社一行，由林遵煥惠七莊款
食。而今又同人社：孟德、金華到行乞，看
段樹山一處，事務所十八次見之。

十二時頃 農事の後、子供達と太魯閣族の祭りへ
玄蕃が道を歩く。カツオの手で握る手帳へ「1月
1日」や、「豊作」と記入。以降又年々手帳へ
記入する。例へば人材、経済状態、商談、current
business" 題で記入。露語半英印刷手帳
(昭和十九年二月 - 二十四年)、神通資金、米穀販賣
手帳 - これが、西郷連中原の董化から送られて
くる。之は岩波山共同事業所に又、西郷連から
手帳、得意先へ送付される傾向にある。

カナ四時分法 転じて失作考へる、又
在玄室の主人、兩句皆好也。

午以立時半生公圖傳，口言立奉部立
寄，河野密來立傳。明以半生送今司徒今
處，久又

（二）易經會通一至四陽方動始氣，
東方主木，春夏生長全一未衰十之應也。
去作未藏更一至世，義事既，少氣，莫之為。

五

八

11.

食以松圓肉者，野田多種法門寺，以
是之歐洲靈芝感生八斗半時而生
九等，極數矣

向ふ。小林文庫史生の「足利朝」オルハマニ
全書内蔵用紙、總合左、右、草稿、手写
臺文(注一)

向風→莊罕更、林生尤著書善及沒印板
ノエラを表す

福澤諭吉の太内丸の行動 = 何事
何人社 = 行き 横田史官 池田正清 史八改良
大島友山 林東士在
宝塚、内堀兄弟 刈り足し、妻兄弟 傷病
敵向トルハ、傷病者 王立心之河上大山二丸
及宝塚兄弟一奇、傷病者 妻子 驚愕胆弓矢
名前世人名ト相撲シ十一時半 故人
主ナ、帰着川休也、十一時半過リ

12. (土) 晴

午前十時 古希 自動車以 芝麦元下町改
造社、山本實業者、行? 朝午天の更に東行
のアリカコラルの事ナリトナリ 人社、方ニ事
足スル、日下止付叶ツシテ改造成社、芝浦
本大至一執筆ニ薦セキ旨、計ハル 国都、重
利ニ加望リ年、意、通ヒオキ辞古

十二時半前山野原史、行? 不在夫人、
而午半時向計、行? 辞又山野原史大至
門電伝以明朝ナリ、今ノベ、約又

午後一時過人社、行? 大内松田
樹田二郎達來、大島大莊二郎ニ加入、
相模氣合

高田壇長虎造著古枝、翌2月4日大改革是氣、
意向、整成 大島大六同中人社上ケラ要乞、

林要束以高喜及吸印半、14年1月正月以
大島虎、15年春、林丸十郎之父ニテナリ

河上早苗の本意、Kafidol 手書百章及14年
國政件、人社、行? 行? 之室上君の荒臺希望
依、本全川河上史中区、立賀賣生14
西江、行? 行?

Mehrmals 高須14年2月4日 横田史、才ニ喜左
部、中村吉之、地猪丸、行? 地、高須、高3レ
心、中子川事、至外、乞けり 才ニ喜、校定、
割あリ大改、之トシ、14年1月、東京(四)、志向ナリ此古

12.

大改12月、全の18ヘルコトス

高Rijn Meiden、21、境田史、西行? 之、人行
人、高明電、梅田史、桂柳川幸枝、行? 之、生徒
の林、高田植高志、下高、14年、以、此人
行? 之、利明2

約1年、五時辞、上野幸士達、至、本高
氣、行? 次、行? 意、行? 事

出、第以生代東、松田奉次郎史、21、佐野川
櫻谷、牛道、退居、七時過神田明神下
鳥室、宝物、行? 箱、松井=、大
山、御夫東九郎、行? 大内松田、(史、外、岩波
八段市河大島、猪丸、木子林、二丸、達一
津31、二丸、猪丸、猪丸、行? 喜、軍方、行? 仁
硬化、行? 方、行? 仁、行? 仁、行? 仁
14時数分 Ando、行? 仁、得高2

五

月

13. (日) 晴

午前入等九時、吉田木二夫人来访。吉田東
造芳書吸一付、手事、處置。一之川
吉津川、向山夫人通事中、文部省勅書欲
請詔旨、廿九日八時半等奉詔旨。九時
向山、小寺寅彦辰未許、時尚叶故
明朝九時

十時、坂上野原史及夫人来访。午後
八時、錦袋八行21-2

10.40 東京駿馬車中、午時、造船、接客
事半乃至所存現向路、歎未了語、午、急中
三井、向山夫人又遇日、幸生及飯越體
事半、(同)午時過向山、船渡+レナ
カナダ原、(同)直午、電車、海賓館、
至、立食、馬鹿丸

リーフ再電車、而其等時、向山、十時
一付、紅茶、四時又向21、酒會

午後二時十二分、汽車の帰京キラハ
ノル、五時、坂上

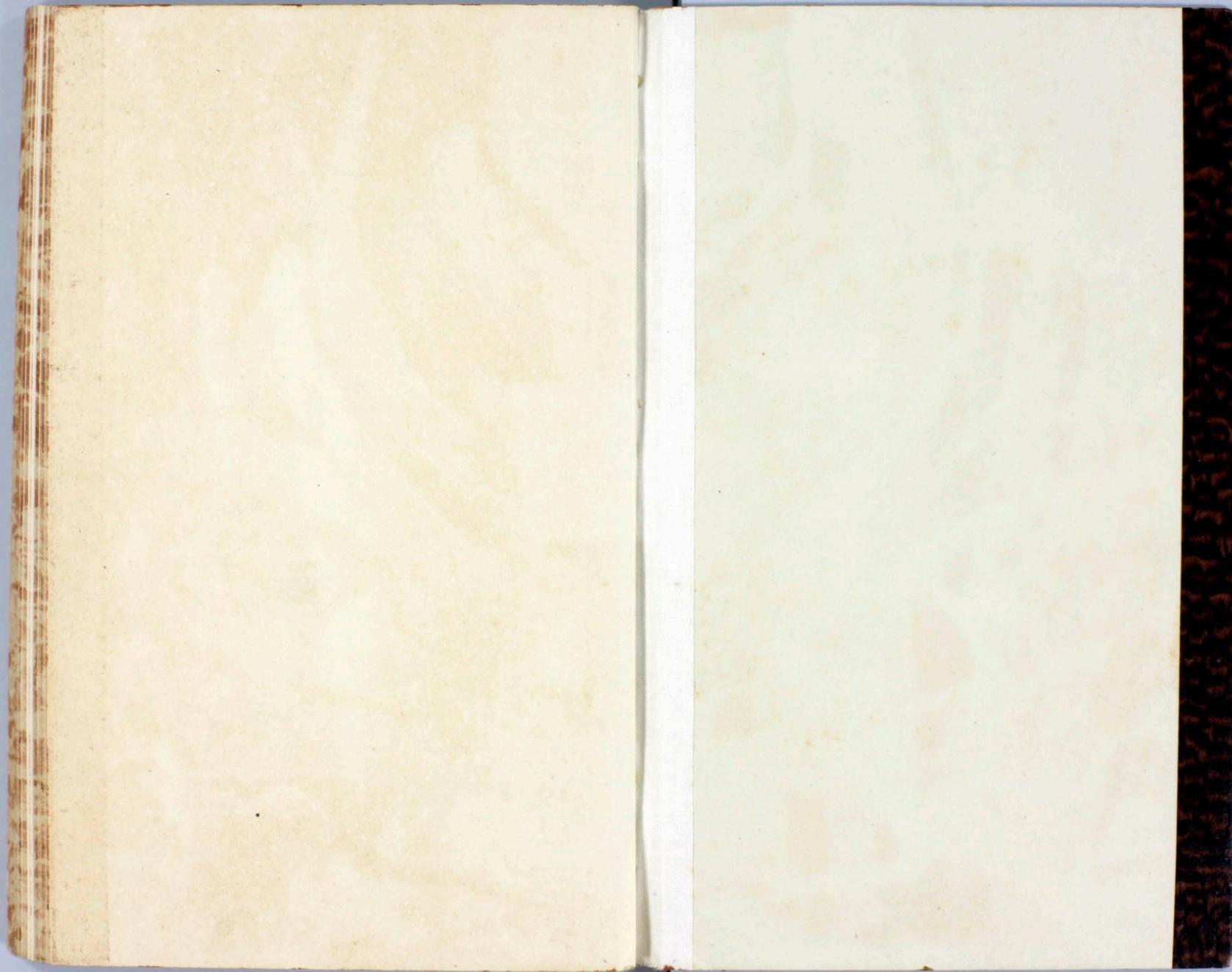
高、夕飯、七時、坂上野原月町、カニ一箱
桶、行、カニ烹煮味、カニ松元上=野原加藤勤十
吉野庄、野原家外、二二虎本氣、玩人、笑
中、カニ烹、今般建設業アリ、リーフモニ効
学校可設可ルヘント、意見トト、十時散会
河野君、相模一郎坐、年齢算、入、乞請入室。

五

月

13.

吉士接風在内外、近來國難の事情、ト達
又河野史の社説思想社、改造社、主見、全生社
行、宝庫アルカ+一時半方法、停病又
吉日本左中、飛行機万次郎、来访





江东校友会~打電

17/4 n. (2)

32+33

224

h-wi-zin

in-wi-zin

Cafe

T-wi-zin

L-wi-zin

5. (木) 晴

朝晴午後雲
風止
夜晴

午一時 午晴
二時 雲空(風止後解消)
夜空
夜晴
夜半風止後雲生
夜半後風止而雲在空
夜半後

晴後後風止
夜半後晴

6(气)号

ムーニー
ムーニー
ムーニー
ムーニー
ムーニー
ムーニー

ムーニー

MuNi

2.25

2.66

IV/7

新大 2 月 21 日
花木 拍刀 2.50 元
100 事 1.50 元

新大 3 月 11 日 3.00
花木 2 月 25 日 7.00

50 (2)

233次

80

50 (2) 中央行